



新年のご挨拶

出雲県土整備事務所
所長 宮川 治

新年あけましておめでとうございます。(社)鳥根県建設業協会出雲支部の皆様方にはすがすがしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、皆様方には平素より出雲県土整備事務所が取り組んでおります社会基盤の整備や公共施設の維持管理に対しまして、格別のご理解とご協力をいただいておりますことに厚くお礼を申し上げます。

昨年は、厳しい経済情勢が続く中、景気の回復と雇用の確保を図るため、公共事業については平成22年度当初予算における県単独事業の追加措置や平成21年度2月補正、さらに、9月補正での経済危機対応・地域活性化予備費を活用した経済対策、そして11月補正での今年度から来年度にかけて切れ目のない経済対策により公共事業予算を追加確保して、地域の安全安心を確保する防災対策や社会基盤の整備を進めてまいりました。

平成23年度予算については、財政健全化に取り組む一方で、安全安心な県民生活や県の将来的な発展などのために真に必要なものについて、予算の重点配分を行う基本的な考えが示されています。

高速道路をはじめとする道路網の整備や災害に強い県土づくりなど社会基盤の整備は「活力ある地域」を実現するために必要不可欠であり、その整備水準が立ち後れた状況にある地域では、今後とも整備を促進するための取り組みを積極的に進めていく必要があります。

こうした状況の中、出雲圏域は一昨年(2021)年の山陰自動車道斐川IC～出雲IC間の開通により全国の高速道路ネットワークと直結し、人や物の交流の活発化や観光の振興、出雲市内の渋滞緩和など、その整備効果が顕著に現れています。今後、圏域のさらなる発展のため、高速交通ネットワークの形成に向けた取り組みを進め、出雲湖陵道路や多伎朝山道路など残された出雲以西の高速道路の整備とともに、広域道路やアクセス道路の整備を推進してまいります。

また、低平地部の市街地における治水対策や急傾斜地危険箇所における落石対策、道路防災対策など重点的に進め、安全で安心して暮らせる地域づくりに取り組んでまいります。

平成24年には古事記が編纂されて1300年を迎え、平成25年には出雲大社で60年に一度の遷宮、「平成の大遷宮」が行われます。これらのイベントを通して地域の活性化を図る必要があります。引き続き、大社神門通りの整備をはじめ、賑わいのある街づくりを進めてまいります。

こうした真に必要な社会基盤の整備を、限られた事業費で最大限の効果が発揮できるよう効率的・効果的に進め、今後とも地域の発展に重要な役割を担っておられます皆様方と協力して、よりよい地域にしていきたいと考えております。

最後になりましたが、(社)鳥根県建設業協会出雲支部の益々のご発展と、会員の皆様方の益々のご健勝、ご活躍を祈念いたしまして、新年の挨拶といたします。

経営事項審査基準の改正について

このたび、経営事項審査基準の改正がありましたので、その概要をお知らせします。改正事項は、以下のとおりですが、虚偽申請防止対策の強化の部分は平成23年1月1日から、審査基準の改正の部分は平成23年4月1日から施行されます。

.....経営事項審査基準の改正事項.....

改正の目的

- ペーパーカンパニー等による不正な高得点の取得を防止するなど、企業実態をより公正・適正に評価できるようにする
- 再生企業に対する批判や審査項目の充実に対する多様なニーズへの対応

1 技術者に必要な雇用期間の明確化

①評価対象とする技術者を「審査基準日前に6ヶ月を超える恒常的雇用関係のある者」に限定することで、技術者の名義借り等の不正を防ぐ

②高年齢者雇用安定法に基づく継続雇用制度対象者は、雇用期間が限定されていても評価対象に含める

3 再生企業に対する減点措置

債権カット等により地域の下請企業等に多大な負担を強いた再生企業について、一定の減点措置を創設

【減点方法】社会性等(W点)で以下の方法で減点評価

①再生期間中、一律-60点(営業年数評価の最高点)の減点

②再生期間終了後、「営業年数」評価はゼロ年からスタート

2 完成工事高の評点テーブルの上方修正

建設投資の減少に応じて評点テーブルを補正し、全体としてバランスのとれた評価を行うとともに、適切な入札機会を確保

①完工高(X1)の評点テーブルの上方修正

②元請完工高(Z2)の評点テーブルの上方修正

【修正方法】H22年度の建設投資見込額を基に、X1、Z2評点が制度設計時の平均点である700点になるように底上げ

4 社会性等(W点)の評価項目の追加

①建設機械の保有状況

→ 地域防災への備えの観点から建設機械の保有状況を積極的に評価

②ISO9000シリーズ、14000シリーズの取得状況

→ 多くの都道府県等が発注者別評価点で評価。経審に追加することで、受発注者双方の事務の重複・負担を軽減

【今後のスケジュール】

関連省令等の公布：平成22年10月15日

施行：平成23年1月1日(虚偽申請防止対策の強化の部分)

平成23年4月1日(審査基準の改正の部分)

公益法人制度改革により “一般社団化へ”

社団法人島根県建設業協会（以下「県協会」という。）は昭和39年4月に設立されると同時に、各地区に支部組織を設け、建設業を技術的、経済的及び社会的に向上させ、公共の福祉を増進することを目的に活動してまいりました。

県協会では、平成18年6月2日に公益法人制度改革関連3法が公布されたのを受け、この制度に対応した組織形態を検討するため、新公益法人制度研究委員会を発足し、鋭意協議検討を行ってまいりました。

その後、県協会理事会において一般社団法人への移行を決定し、主務官庁（島根県総務部・土木部）と協議を重ねる中で、次のような指摘がありました。

- ・現在の(社)島根県建設業協会組織は、定款に基づいて認可されているが、定款どおりに組織運営がなされていないこと。
- ・定款では、組織が本部・支部組織となっており、本部のもとに支部が活動、運営されていることになっているが、実態は支部組織が完全に独立しており、財務も人事も単独運営となっており、又支部といわれる事務所も法的登記がなされていないこと。

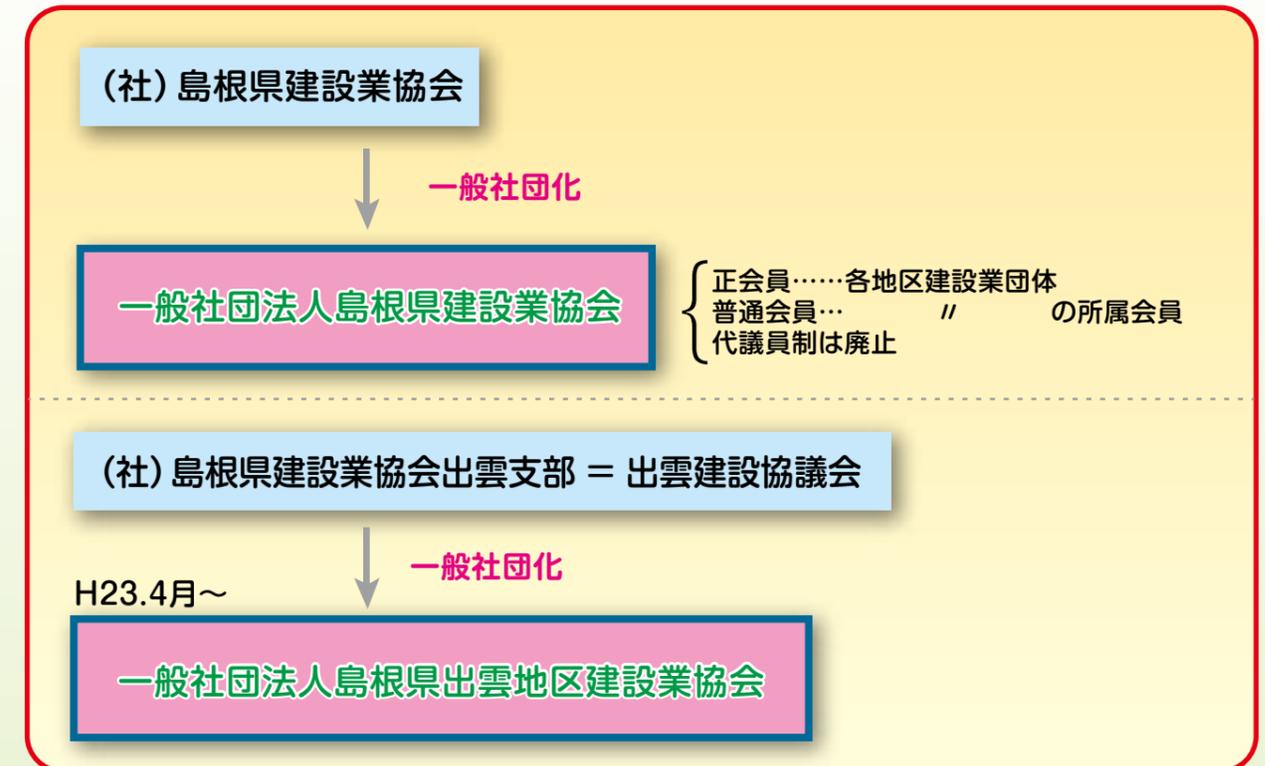
などから、現在の支部組織は支部と表現できないため、一般社団法人移行以前の段階で、現在の定款を実態に合わせて変更したほうがよい、という指導を受けました。

そのため、県協会では、定款内容を

- ①支部名称を解消し、それに代わる各地区建設業団体（一般社団法人）を構成し、今まで通り県協会と連携運営をしていく。
- ②連合体組織となるため、地区建設業団体を正会員とし、そこに所属する企業を普通会員と呼称する。
- ③代議員制を廃止する。

上記のとおり変更することになりました。

平成22年10月18日、県協会理事会において定款の変更並びに一般社団法人への移行手続き計画が承認され、平成23年2月22日に臨時総会を開催し、定款変更（案）を提案することになっております。



一方、各支部においては、県協会の定款変更に伴い、支部組織が県協会と切り離されると同時に、支部という名称も使用できないことになり、団体組織としての活動に制限を受ける恐れがあることから、平成23年4月1日には一般社団法人を設立し、新たな名称により従前同様の活動を行うこととなりました。

出雲建設協議会は昭和23年4月に設立し、昭和39年4月、県協会設立と同時に県協会出雲支部として、今日まで業界の地位向上、発展に努めてきましたが、このたびの公益法人制度改革に呼応して、出雲建設協議会の会則を定款に変更し、

平成23年4月1日から【一般社団法人島根県出雲地区建設業協会】としてスタートをきることをしております。

また、今回、出雲建設協議会を法人化するにあたり、県協会の顧問公認会計士、公証人並びに司法書士事務所等の意見を伺い、定款を作成し、1月17日に行われた臨時総会で承認されたところであります。

なお、当協議会を法人化することは、団体の法律上の位置づけと責任の所在が明確化されることに加え、社会的地位や信用力の向上が期待されるばかりでなく、行政や他法人との契約行為が可能になり、活動の幅が大きく拡大することになります。このように社会的にも客観性の高い活動を行うことで、組織の継続性、安定性がより高まるものと思われまます。

今回の一般社団法人化という一つの区切りを機に、更なる結束と体制の強化を図り、一層の基盤強化に向けた取組みを進めることとします。

平成 21 年度施工
島根県優良工事知事表彰

部 門	工 事 名	施工業者/代表者名	主任技術者
道 路	(一)出雲インター線 知井宮工区 改築(改良)工事 第4期	山陰建設工業 株式会社 代表取締役 小村 洋司	西 武志
	(一)出雲インター線 浅柄工区 地方道路交付金(交通安全)工事 第4期	株式会社 ナカサン 代表取締役 藤江 和夫	田中 誠也
都市計画	今市古志線 地方道路交付金(街路)事業舗装工事	まるなか建設 株式会社 代表取締役 中筋 廣昭	斉藤 大軸
農業土木	平成20年度 ふるさと農道整備事業朝山地区 橋梁下部工事	株式会社 朝山技建 代表取締役 太田 正夫	三原 卓久

平成 21 年度施工
島根県優良業務知事表彰

部 門	工 事 名	施工業者/代表者名	管理技術者
土木・地質調査・測量・調査業務	国道431号 美野工区 道路修繕(地すべり)対策工事 調査業務委託	出雲グリーン株式会社 代表取締役 吾郷 直之	原 忠利
土木設計業務	(一)出雲インター線 知井宮工区 改築(改良)工事 沈下解析業務委託	復建調査設計株式会社松江支社 執行役員支店長 松原 靖男	菅野 雄一

平成 21 年度施工 **優良工事表彰** ◇所長表彰◇

部 門	工 事 名	施工業者/代表者名	主任技術者
道 路	(主)出雲三刀屋線 船津工区 地方道路交付金(交通安全)工事 第2期	(旧)株式会社 別所組 (現)株式会社 今岡興産 代表取締役 今岡 裕統	井上 英昭
	(主)出雲三刀屋線 船津工区 特定交通安全(改良)工事 第5期	今岡工業株式会社 代表取締役 今岡 余一良	神谷 和宏
	国道184号 佐田工区 補修(舗装)工事	日発工業株式会社 代表取締役 藤岡 隆義	坂本 武志
	(一)斐川上島線 直江工区 舗装整備工事	ヒカワ工業株式会社 代表取締役 福田 美樹	川嶋 弥貴
	(一)佐田小田停車場線 毛津工区 新世紀道路(生活関連)工事	株式会社 岩崎建設 代表取締役 岩崎 哲也	岩崎 哲也
	国道184号外 道路維持修繕(舗装その2)工事	株式会社 ダイニ 代表取締役 安達 稔	奥林 和弘
河 川	十間川 広域河川改修工事 第1期	株式会社 日本海建設 代表取締役 青砥 正人	遠藤 明
	神戸川 広域河川改修工事 大向工区(その2)	株式会社 朝山技建 代表取締役 太田 正夫	加藤 清志
建 築	出雲合同庁舎外壁等改修工事	有限会社 エ工ヨシ建設 代表取締役 金築 孝佳	糸賀 広
	出雲警察署小境駐在所 庁舎新築(建築)工事	有限会社 西工務店 代表取締役 西 優治	西 令治
設 備	大社高等学校受水槽、高架水槽改修工事	イマックス株式会社 代表取締役 加藤 幹夫	内田 隆行
森林土木	平成20年度 林道開設事業(森林管理道) 宮本聖谷線 第1工区 道路工事	有限会社 ナギラ建工 代表取締役 柳樂 明	田部 吉修
	平成21年度 林地荒廃防止事業(下組北)山腹工事	株式会社 淞南ダイア 代表取締役 三原 晴治	三原 晴治



優良工事知事表彰を受賞して

山陰建設工業(株)
西 武志

この度、(一)出雲インター線知井宮工区改築(改良)工事第4期に於いて、優良建設工事知事表彰を頂いたことを、大変光栄に思っております。

この工事は、山陰道出雲インターチェンジから国道9号線までのアクセス道路のうち、約770mの工区のL型擁壁から現場打ち用水路、街渠側溝、舗装工事、最後は圃場整備にいたる工事でした。

まず、6月18日の契約から、11月28日の山陰道開通までの5か月間で、仮設道へ切り替えながら本線の土工事から、構造物、排水性舗装までを完成させなければなりません。最初に路床掘削からとりかかり、7月中旬にディープスタビライザーにて路床安定処理を終わらせ、仮設道を舗装し、盆明けに切替えました。構造物工事には3班投入し、毎日の丁張掛けと夏場の暑さも重なってかなりハードでしたが、おかげで余裕をもって進捗できました。また、作業員の方達には2連棟の畳敷の休憩所を用意し、クーラーの中で休憩してもらった結果熱中症にもかからず、工事を無事に進めることができました。

しかし仮設道の大型車両の交通量が多くわだち掘れを何度も補修したため、仮設道と甘く見ずしつかりしたものを作ったほうが、結局近道であると痛感しました。現道から仮設道、仮設道から本線への切替時には、朝夕のラッシュもあり安全施設や誘導灯を多く使い、また作業スペースも通行車両と近接するため、交通誘導員の方々には苦勞をかけました。切替当初は発注者の方々にも心配していただき、夜間もしばらくは交通の流れを一緒になって見守っていたことが思い出されます。

この工区は小学校の通学路であり、工事中歩道が整備できない期間は借地部分の農耕用耕作道から通学していただきました。地道のため雨天時には水がたまり、何度かグレーダーで不陸整正をしたものの結局児童の靴を汚してしまい、大変申し訳なかったです。しかし交通誘導員の方々に耕作道を児童と一緒に歩いてもらったので、安心して作業ができました。

本線の舗装も順調に進み、山陰道開通時には当現場から9号線まで開通待ちの方々の車両がつながりひやひやしましたが、無事に開通でき、一安心しました。

さて、開通後の目標は3月中の借地整備ですが、約10000㎡の土砂を借地から搬出するにあたり、本線が排水性舗装ということもあり、ひたすらタイヤ洗浄と散水の毎日でした。その後の圃場整備も私の経験が浅く何度も手戻りし、地元の方々にはご迷惑をおかけしましたが、立派な田区進入路ができ、結果が残せました。圃場整備も終わり、最後に6000㎡の防草対策舗装にかかりましたが、3月も終盤を迎え寒いなか昼夜にわたり舗装をした結果、何とか竣工検査を迎えることができました。

今回の工事は出来形、品質面はもちろんのことですが、工期の制約と、特に交通・第三者災害に労力を割きました。また、長年にわたる事業のアンカーとして重圧を感じましたが、自分の現場があるにも関わらず、昼夜にわたって協力してくれた仲間たちのおかげで乗り切ることができました。今後はぜひ、自分が協力できる立場になればと思います。

最後に今回の受賞は出雲県土整備事務所の皆様、協力会社の皆様、地元の皆様に御協力いただいた結果であると深く感謝しております。



(一)出雲インター線 知井宮工区
改築(改良)工事 第4期



優良工事表彰を受賞して

(株)今岡興産
井上英昭

この度、平成20年度(主)出雲三刀屋線船津工区地方道路交付金(交通安全)工事第2期工事に於いて、優良建設工事表彰を頂き、大変光栄に思っております。

また、今回の受賞は発注者の皆様や協力会社の皆様の支え、御協力があったからこそと深く感謝しております。

この工事は主要地方道出雲三刀屋線の改築に伴い、新田川遊水池に橋脚を新設する工事でした。

施工にあたって遊水池内に、場所打ち杭等を施工する為の仮設の施工ヤードを設置する必要がありました。

当初設計では、大型土のうを遊水池内に設置してから盛土を行い、ヤードを作る計画でした。しかし、遊水池内はヘドロが堆積していてとても不安定な地盤の為当初計画通り施工をすると、場所打ち杭、締切り矢板等の施工で大型機械の使用ができない可能性があり仮設工の検討を迫られました。

発注者と協議・検討の結果、仮設ヤードの土留めは鋼矢板での施工となり、遊水池の地盤にはセメント改良による安定処理を行うことになりました。

鋼矢板の施工はクレーンのヤードが狭く、そして施工範囲もクレーン性能ギリギリの範囲であり、また地盤改良についてはヘドロを改良する作業なのでバックホウが池にはまってしまう心配がありました。

自分はこのような条件での施工経験は過去に無く、不安を抱えての施工になりましたが実際に施工をする協力会社の方と施工の際の打合せ等のコミュニケーションを密に行った結果、大きなトラブルも無く、工程通りに仮設ヤードを設置することができました。

この仮設ヤードのおかげで橋脚本体工事の方も事故も無く、施工を完了することができました。

このように、発注者や協力会社、会社の方々に多大な御理解と御協力を頂き工事を完成させることができ、感謝の気持ちでいっぱいでありたいと思います。皆様、本当にありがとうございました。



平成20年度(主)出雲三刀屋線 船津工区
地方道路交付金(交通安全)工事 第2期工事

今後も、現場の条件に即した対応力と、技術力を備えて生涯、現役でありたいと思います。

現在、建設業界には非常に厳しい逆風が吹き荒れ明日のことさえも分からないような状況ですが、これから少しでもこの業界の必要性が再認識されて、再び陽があたることを願いたいと思います。